

議題 2

青少年交流事業の開催結果について（報告）

- 1 「青少年国際平和未来会議2016」開催結果（育成課）
- 2 「2016広島市・大邱広域市青少年交流事業」開催結果（育成課）
- 3 「平成28年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果（育成課）

「青少年国際平和未来会議2016」開催結果

1 目的

広島市の姉妹・友好都市等の青少年と本市の青少年が互いに世界平和について考え、意見を交換し合うことにより、友情と相互理解を深めるとともに、広く世界の国々の青少年に核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝え、次代を担う青少年の世界平和への意識を高めることにより、グローバル人材の育成を図る。

2 主催

青少年国際平和未来会議2016実行委員会

(構成：一般社団法人広島国際青少年協会、広島市教育委員会、広島市ほか)

3 事業期間

平成28年(2016年)8月10日(水)～8月20日(土)(10泊11日)

4 開催場所

ロシア ボルゴグラード市内

5 参加者

広島市 7名〔団長1名、指導者1名、青少年5名(高校生4名、大学生1名)〕

姉妹・友好都市等6都市 43名〔指導者4名、青少年39名〕

ボルゴグラード(ロシア)、ケルン(ドイツ)、ケムニッツ(ドイツ)、ディジョン(フランス)

成都(中国)、バンコク(タイ)

6 主な日程

日時	内容	宿泊
8月10日(水)	広島駅→広島空港→羽田空港	機内泊
8月11日(木)	羽田空港→ドバイ空港→モスクワ空港 ボルゴグラード着、団員はホストファミリーと合流	団員はホームステイ
8月12日(金)	終日 ホームステイ(市内散策)	
8月13日(土)	午前 ホームステイ 午後 指定ホテルへ集合(各都市代表団到着)	
8月14日(日)	午前 開会式、各都市プレゼンテーション 午後 講演(元市長)、パノラマ博物館見学	
8月15日(月)	午前 ボルゴグラード州立工科大学訪問、講演 午後 グループ討議、ボルゴグラード州立農業大学訪問、講演	ボルゴグラード 市内ホテル
8月16日(火)	午前 第5中等教育学校訪問、体験活動(ヨガ、ダンス、工作) 午後 スポーツイベント、ママエフの丘見学	
8月17日(水)	午前 歴史資料博物館訪問、講演 午後 グループ討議、文化交流の夕べ、夕食会(市長出席)	
8月18日(木)	午前 ボルゴグラード州立大学訪問、グループ討議 午後 コミュニケ発表、閉会式、ヴォルガ河遊覧	
8月19日(金)	ボルゴグラード発→モスクワ空港→ドバイ空港	機内泊
8月20日(土)	ドバイ空港→関西空港→新大阪駅 広島駅着	

7 研修会等

事前研修会 ① 6月19日(日) ② 7月10日(日) ③ 7月24日(日) ④ 7月31日(日) ⑤ 8月7日(日)

市長訪問 8月10日(水)

事業報告パネル展示 9月11日(日) (「ボルゴグラードの日」にて)

事業報告会 11月20日(日) (「国際交流・協力の日」にて)

8 成果

広島市と同様に戦争により廃墟と化したまちから復興したボルゴグラード市において、6カ国7都市から参加した青少年が、寝食を共にしながら様々なプログラムに参加する中で平和の大切さについて考え、世界恒久平和構築のためにディスカッションを行い、共同コミュニケをまとめて発表した。

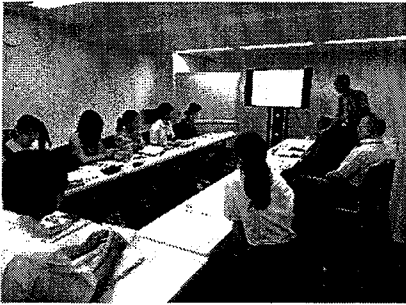
また、参加青少年は、それぞれの価値観や立場の違いを認め合い、共に納得できる方向性を導き出しながら友情と相互理解を深めることができ、グローバル人材育成につながった。

9 事業後の取組

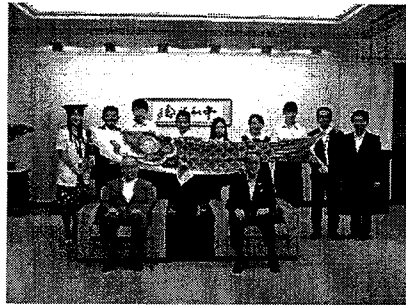
9月11日（日）の「ボルゴグラードの日」において、事業報告パネル展示及び世界恒久平和を願う「鯉のぼりの署名活動」を行った。

また、11月20日（日）の「国際交流・協力の日」において事業報告会を行うとともに、報告会資料や参加者が書いた感想を広島市ホームページで公開する。

《活動の様子》



7/31(日) 事前研修会



8/10(水) 市長訪問



8/14(日) 広島紹介プレゼンテーション



8/15(月) ボルゴグラード州立工科大学訪問



8/17(水) 文化交流の夕べ



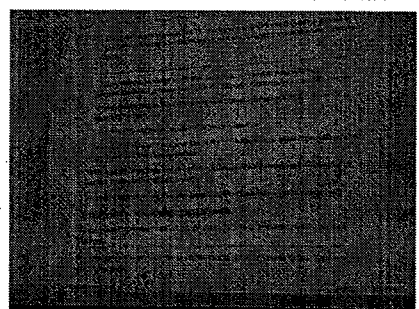
8/17(水) 夕食会
ボルゴグラード市長への銅板折鶴贈呈



8/18(木) グループ討議



8/18(木) グループ討議の成果発表



8/18(木) コミュニケ発表

《事業後の取組》

「ボルゴグラードの日」【9月11日（日）】



鯉のぼりの署名活動



来場者へのパネル展示説明



松井市長へのパネル展示説明

「2016 広島市・大邱広域市青少年交流事業」開催結果

1 目的

広島市の姉妹都市である韓国大邱広域市から青少年を受け入れ、生活を共にしながら国際交流を行うことにより、本市と大邱広域市の青少年の相互の友情を深めるとともに、青少年の世界平和への意識を高める。

2 主催

2016 広島市・大邱広域市青少年交流事業実行委員会

(構成：広島県日韓親善協会、広島市教育委員会、広島ユネスコ協会、NPO 法人友愛アカデミー)

3 事業期間

平成28年(2016年)7月29日(金)～8月2日(火)(4泊5日)

4 開催場所

広島市内

5 参加者

広島市 28名 [指導者5名、青少年23名(中学生5名、高校生18名)]

大邱広域市 23名 [指導者3名、青少年20名(中学生4名、高校生15名、大学生1名)]

6 主な日程

日時		内容	宿泊
7月29日(金)	午前 午後 夜	開会行事、交流会、班別活動 平和公園・平和記念資料館見学 歓迎夕食会	広島市国際青年会館
7月30日(土)	午前 午後	宮島訪問、杓子・もみじ饅頭作り体験 ホームステイ	ホームステイ
7月31日(日)	午前 午後 夜	ホームステイ ホームステイ 宿泊施設集合	広島市国際青年会館
8月1日(月)	午前 午後	学校訪問、広島城散策 班別活動、班別発表会、閉会行事、市内散策	広島市国際青年会館
8月2日(火)	午前 午後	大邱市交流団が広島空港から帰国(見送り) 解散	

7 研修会等

結団式・事前研修会① 6月12日(日)

事前研修会② 6月26日(日)

事前研修会③ 7月3日(日)

事前研修会④ 7月24日(日)

解団式・事後研修会 8月10日(木)

事業報告会 11月20日(日) (「国際交流・協力の日」にて)

8 成果

参加者は事前研修で韓国語を学んだり、平和公園の碑めぐりの事前準備や交流会の企画をするなど、開催都市の代表であるという自覚を持って主体的に事業に参加することができた。交流期間中も、大邱市の参加者を常に気遣い、声掛けをする場面が多く見られた。平和公園では班ごとにコースを決めて碑めぐりを行い、英語や韓国語でそれぞれの碑について熱心に説明をした。また、班別活動ではテーマを決めて文化を比較し、隣の国であっても多くの違いがある事を実感することができた。

生活を共にしながら交流を進める中で、お互いの国の文化や歴史、生活習慣や考え方について理解を深め、グローバルな視野を広げる契機となった。また、今後も日韓友好の架け橋となりたいとの意識を醸成することができた。

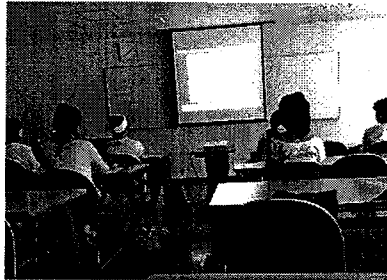
9 事業後の取組

11月20日(日)の「国際交流・協力の日」において事業報告会を行うとともに、報告会資料や参加者が書いた感想を広島市ホームページで公開する。

《活動の様子》



6/12(日) 結団式



6/26(日) 事前研修会



7/3(日) 事前研修会



7/29(金) 開会行事



7/29(金) 交流会



7/29(金) 班別活動(文化比較)



7/29(金) 韓国人原爆犠牲者慰霊碑へ献花



7/29(金) 平和公園碑めぐり



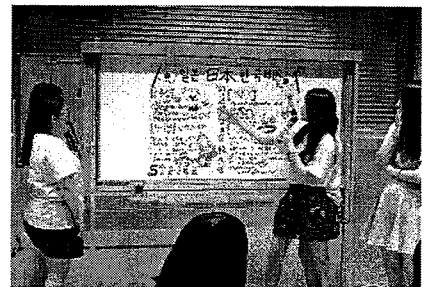
7/29(金) 歓迎夕食会



7/30(土) もみじ饅頭手焼き体験



8/1(月) 弓道体験(基町高校)



8/1(月) 班別発表会

「平成28年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果

1 目的

広島・長崎両市の児童生徒が交互に訪問し合い、平和学習を通じて平和意識の高揚を図るとともに、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育む。また、集団生活や体験学習を通じて、友情と親睦を深めるとともに、自主性や社会性を育てる。さらに、青少年リーダーとしての指導力や実践力を養う。

2 主催

広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会

(構成：広島市子ども会連合会〔担当：南区子ども会連合会〕、広島市教育委員会)

3 事業期間

平成28年(2016年)8月20日(土)～8月22日(月)(2泊3日)

4 開催場所

長崎市内

5 参加者

広島市子ども会連合会(担当：南区子ども会連合会)

40名〔指導者8名、児童生徒32名(リーダー含む)〕

長崎市子ども会育成連合会

53名〔指導者17名、児童生徒36名(リーダー含む)〕

6 主な日程

日時	内容	宿泊
8月20日(土)	入所式、歓迎セレモニー	日吉自然の家
8月21日(日)	長崎市での平和学習と市内探検 ・平和学習(平和祈念像への献花、原爆落下中心地碑への黙祷・折鶴奉納、被爆体験講話の聴講、長崎原爆資料館の見学) ・班別に市内探索(大浦天主堂、グラバー園、出島、眼鏡橋等) 平和のつどい	日吉自然の家
8月22日(月)	お別れ式、解散式	

7 研修会等

結団式・事前研修会 7月31日(日)

事後研修会 8月28日(日)

8 成果

広島・長崎市の児童生徒が平和学習を通して平和意識を醸成し、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育むことができた。

また、参加者は集団生活や体験学習を通じて、自主性や社会性を培い、青少年リーダーは、指導力や実践力を養うことができた。

9 事業後の取組

事業概要や参加者が書いた感想文を「感想文集」として作成し、広島市内の各学区の子ども会や南区内の小・中学校に配付する。

《活動の様子》

結団式・事前研修会【7月31日(日)】



自己紹介



アイスブレイク



平和学習(被爆瓦)

長崎市での活動【8月21日(日)】



平和祈念像への献花



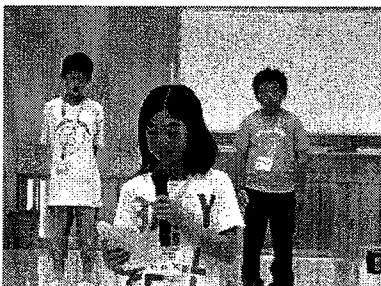
原爆落下中心地碑への折鶴奉納



長崎原爆資料館の見学



市内探索(大浦天主堂)



平和のつどい(ピースキャンドル)



事後研修会【8月28日(日)】



グループ討議(振り返り)



班別発表(テーマ:平和のために取り組んでいくこと)

